

はじめに

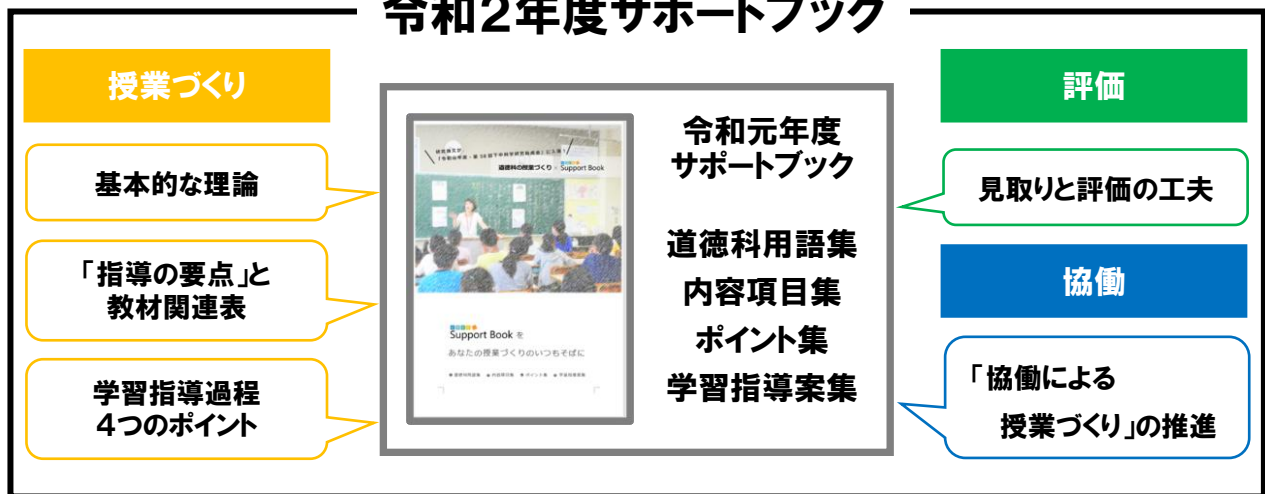
道徳科の授業づくりに活用できるサポートブックについて

宮城県総合教育センター令和元年度専門研究道徳教育研究グループでは、「考え、議論する道徳」を目指したサポートブックの作成と活用を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育む道徳科の授業づくりを提案しました。

サポートブックは、道徳科用語集、内容項目集、ポイント集、学習指導案集で構成されており、教師一人一人の授業づくりを支援する資料です。本サポートブックの内容及び表現については、学習指導要領を基にしております。

令和2年度は、「授業づくり」「評価」「協働」の3つをキーワードにサポートブックの充実・改善を図り、サポートブックが「考え、議論する道徳」の授業づくりや校内研修会を行う際に更に活用しやすい資料となるようにしました。

令和2年度サポートブック



学校における活用例

学級担任の先生 指導に関わる先生	<ul style="list-style-type: none">○授業づくりを行う際に押さえておきたい基本的な理論を理解する。○授業づくりのポイントをつかむ。○内容項目と指導の要点を理解し、授業のねらいを明確にする。○授業構想から評価までの流れを理解し、評価に生かす。○学習指導案を作成する際の参考資料として活用する。
研究主任 道徳教育推進教師	<ul style="list-style-type: none">○職員会議等の参考資料として活用する。○授業づくりや評価についての共通理解を図る際の資料とする。○サポートブックを活用して校内研修会を実施する。○授業検討会の際にサポートブックを参考に協議する。
初任者研修を 担当する先生	<ul style="list-style-type: none">○初任者研修の参考資料として活用する。 (基本的な理論・学習指導過程の構想・学習指導案の書き方等)

各学校において、児童生徒の実態を踏まえて、授業づくりや校内研修会を行う際に、本サポートブックを活用されることを願っています。